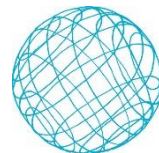




「効果検証結果」編



5.効果検証結果 (1)(A)批判的思考力の伸長

まず、今回育成を目指した批判的思考力(5観点)の伸長について、次の2つの視点で見ていく。

- ①. 「②グループ検討」後に「③個人で再構築」する活動の効果
- ②. 4回の実践を経た効果

① 「②グループ検討」後に「③個人で再構築」する活動の効果

授業内における各学習ステップでのルーブリック得点(批判的思考力の5つの評価観点)の推移を見る。

【「②グループ検討」の効果】

●「課題認識」は、グループで共有することで、認識が補正される

「課題認識」は、「②グループ検討」時に大幅に得点が伸び、その後は大きな変化が見られなかった(図11参照)。グループで共有することで認識の改善が図られたと言える。それを基に「③個人で再構築」での思考の深まりにつながったと考えられる。

●全員で共有することで「視点の多様性」が向上する

「視点の多様性」についても、「①(個人検討)⇒②(グループ検討)への変化」に有意な差が見られ、視点が広がったと言える(表6参照)。

【その後、「③個人で再構築」することの効果】

その後、さらに個人で再検討することで、以下の得点の伸びが見られた。

●情報を解釈して取り込むこと(「情報の整理」「情報の評価」)は、「③個人で再構築」することで伸びが見られた

「情報の生徒」と「情報の評価」の2観点については有意な差が見られ、グループ活動の後に「③個人で再構築」を行うことで、大きく得点が向上した。グループで共有された意見を基に、再度個人で検討することで、情報を咀嚼して自己の中に取り込むことが促進されたと言える。

●「視点の多様性」も、「②グループ検討」時よりも、「③個人で再構築」時の方が、大きく向上した

「視点の多様性」についても、「①(個人検討)⇒②(グループ検討)への変化」と、「②(グループ検討)⇒③(個人で再構築)への変化」の差に有意差が認められた。

また、①⇒②の変化よりも、②⇒③の変化の方が大きく、「③個人で再構築」時に大きく伸びていることが分かった。

グループ検討により、「課題認識」が適性に補正され、多様な意見が得られたことから、その後個人で再検討することで、新たな解釈や意見が生まれやすくなったと考えられる。

今回のモデルによる批判的思考力の向上ステップを図12にまとめた。

5.効果検証結果 (1)(A)批判的思考力の伸長

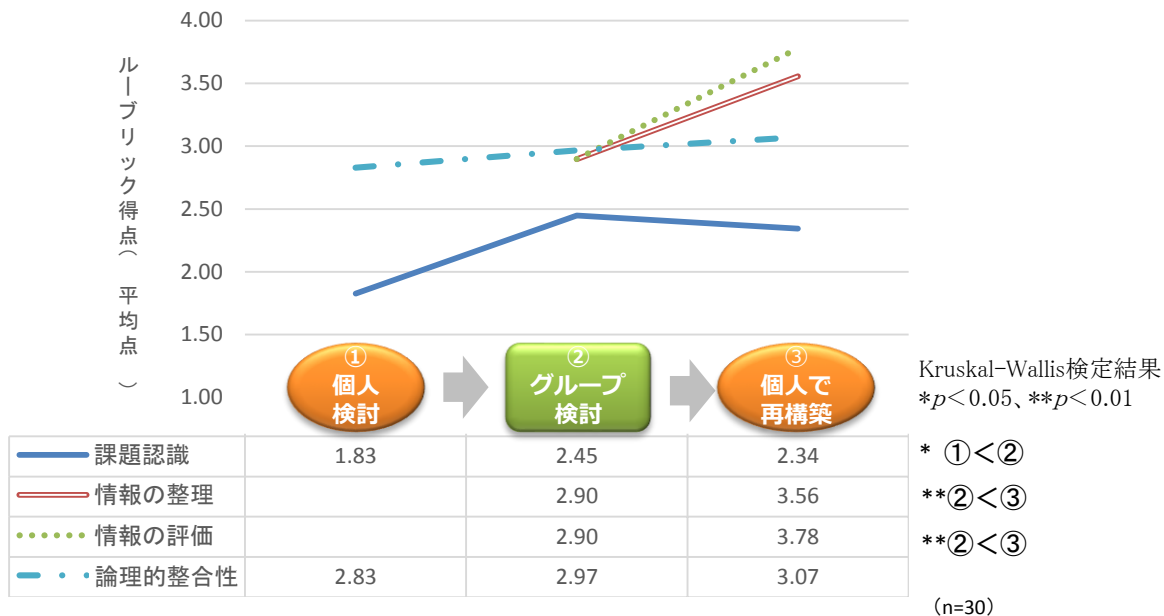


図11.批判的思考力のルーブリック得点(平均点) (実践4) ~検討プロセスごとの差~

表6.批判的思考力のルーブリック「視点の多様性」の得点分布と検定結果

	変化なし (レベル1)	変化あり (レベル3, 4)	(詳細内訳)		平均点
			変化あり (レベル3)	変化あり (レベル4)	
視点の多様性①⇒②への変化	2	27	27	0	2.86
視点の多様性②⇒③への変化	4	24	11	13	3.18

- ・変化あり・なしについて ⇒ 1×2の直接確率計算(正確二項検定、両側検定)結果
「視点の多様性①⇒②」、「視点の多様性②⇒③」ともに、有意差が認められた($p < .001$)
- ・詳細内訳について ⇒ マン・ホイットニの検定(両側)の結果
「視点の多様性①⇒②」と「視点の多様性②⇒③」との間に、有意差が認められた
(同順位補正Z値 = 2.79, 同順位補正p値 < .001)。
「視点の多様性①⇒②」と比べて、「視点の多様性②⇒③」の方が向上したと言える

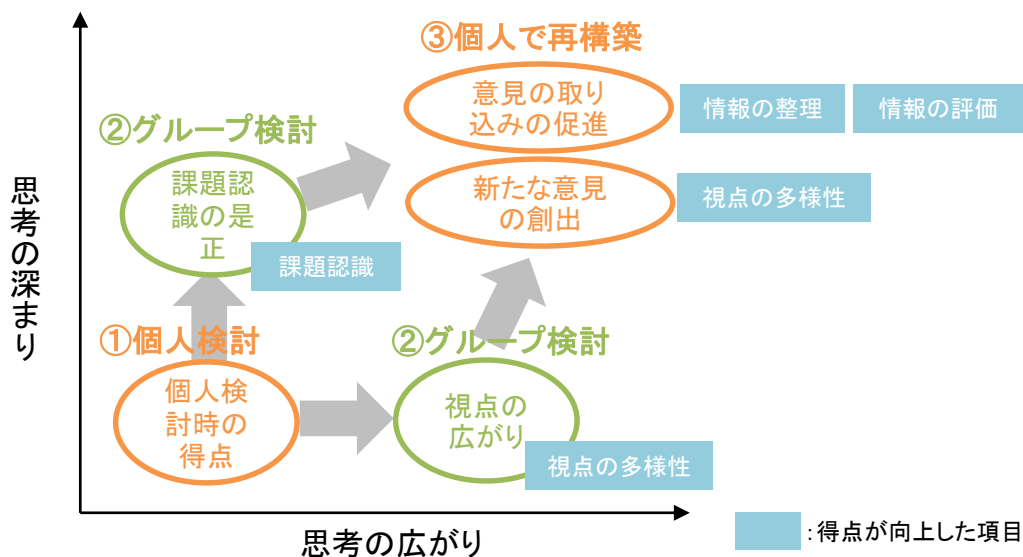


図12.批判的思考力の向上ステップ(まとめ)

5.効果検証結果 (1)(A) 批判的思考力の伸長

② 4回の実践を経た効果

前述の「③個人で再構築」することで伸びた力は、4回の実践を経ることで、批判的思考力の向上につながったといえるのだろうか。実践1～実践4の間で、批判的思考力のルーブリック得点がどのように変化したのかを見る。

●「情報の評価」と「視点の多様性」について、4回の実践による伸びが見られた

5つの評価観点のうち、上記2観点について有意差が見られた(図13)。特に、「情報の評価」については、約8割の児童がレベル4(プラスαが見られる)に達することができた(図14)。実践を重ねるごとに、多様な情報を取りまとめて評価したり、友だちの意見を取り入れたりすることができるようになっていったことが分かる。

●「課題認識」は、テーマの難易度に左右されやすく、「論理的整合性」の向上までには至らなかった

「課題認識」は、課題を捉えることが難しかった実践3や実践4で大きく落ち込みが見られた。実践間の有意差は見られたが能力の変化とは見なされず、テーマの捉えやすさによって左右されると考えられる。また、「論理的整合性」の向上には至らなかった。説得力のある意見を記述する力は、一朝一夕では育たず、さらなる実践を積み重ねていくことが必要であると考えられる。

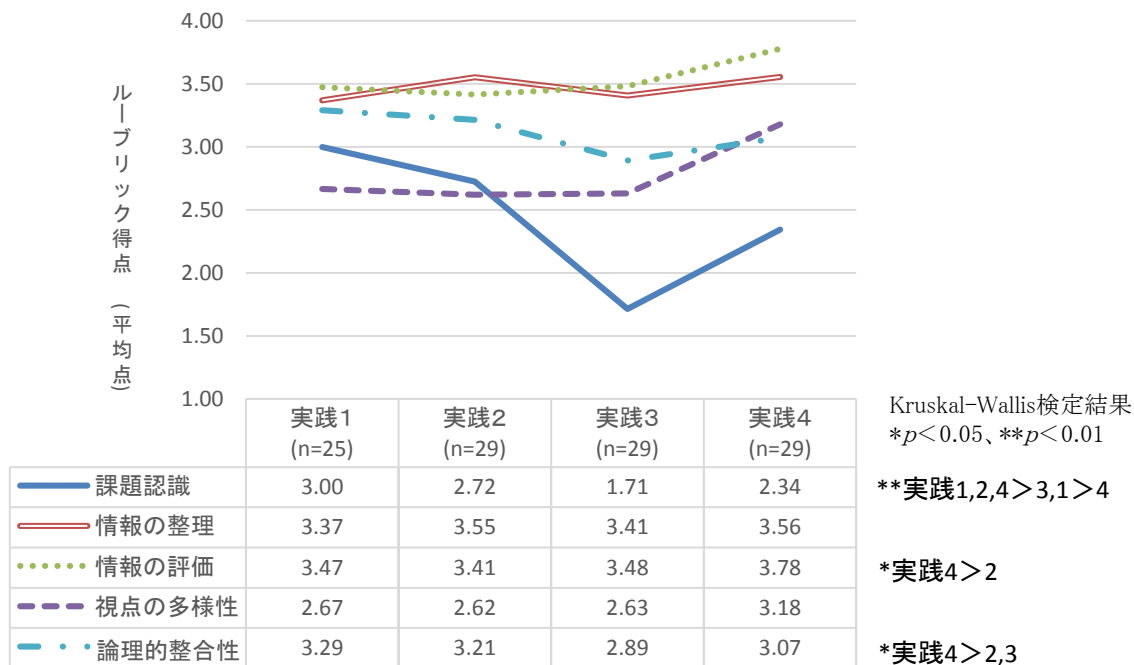


図13.批判的思考力のルーブリック得点(平均点) ③個人で再構築 ～授業ごとの推移～

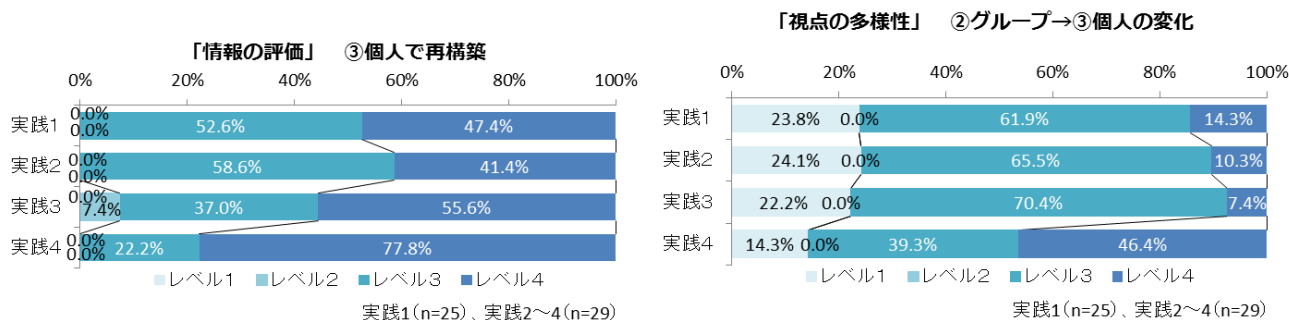


図14.批判的思考力のルーブリック得点(レベル分布) ③個人で再構築 ～授業ごとの推移～

5.効果検証結果 (2)(B)意識・態度の変化

①アンケート調査より

実践前後に、児童に対してアンケートを取得し、行動や態度・意識がどのように変化したのを見た。

●「批判的思考」の方法を意識して取り組むことができるようになった

「批判的思考(行動評価)」に対する得点はほぼ全ての項目について得点が向上し、批判的思考の方法を意識して取り組むようになったと言える。

●さらに、「他者理解」や「試行錯誤」など、能動的な学習姿勢を身につけることができた

「他者理解」「コミュニケーション意識」「試行錯誤」も多数の項目の得点が向上した。人に意見を聞こう、あれこれ思考を巡らそうとする意識が身につく、より能動的な姿勢に変容する姿が見られた。

●ただし、意識(学習観、自己認識)が変化するまでには至らなかった

学習や自己に対する意識の変化には、継続的な学習活動や働きかけなどが必要になると考えられる。

表7.事前・事後アンケート結果(主な項目を抜粋)

分類	項目	事前	事後		
批判的思考 (行動評価)	課題認識	話し合いをする時は、何が問題になっているのかをまず考える	3.87	4.34	*
		人の意見を聞くときは、事実と意見を区別して考える	3.13	4.00	*
	情報の整理	自分と人の意見の共通点や違いを整理しながら考えている	3.48	4.17	**
		その人の言いたいことや理由を考えながら聞いている	3.69	4.17	
	情報の評価	ものごとを関連づけて考えている	3.40	4.17	**
		述べられている意見と理由がきちんとつながっているかを考える	3.41	4.04	*
	視点の多様性	人の意見を聞いて、いいところを自分の意見に取り入れている	3.90	4.39	*
		人の意見を聞いて、新しいことを思いつくことがある	3.53	4.00	*
		人の意見を聞いて、自分の考えが正しいのかを考え直すことがある	3.77	4.48	**
		自分の立場だけでなく人の立場からも考えている	3.47	4.18	**
	論理的整合性	なぜそう思うのかの理由をつけて自分の意見を説明している	3.41	4.31	**
		すじ道をたてて、ものごとを考えている	3.14	4.00	**
意見をまとめるときは、全体のつながりを考える		3.27	3.97	**	
反対意見があることも考えて、自分の考えを見直すことがある		3.53	4.00	**	
学習姿勢・態度	他者理解	人の意見や考えを知りたいと思う	4.00	4.62	**
		考えが違う人の意見も大切にしている	3.67	4.44	**
	コミュニケーション意識	人に自分の考えを伝えたいと思う	3.61	4.17	
		人の意見で、わからないことは質問している	3.37	4.10	*
	試行錯誤	自分の意見がどうしたら伝わるか、使う言葉や言い方を考える	3.57	4.14	*
		いろいろな事柄について、どうしてそうなるのかをよく考える	3.23	4.21	**
意識	学ぶ意欲	いろいろなことを知ること、できるようになることが楽しい	4.63	4.56	
		なるべく多くのことを学びたいと思う	4.14	4.44	
	学習観	学習によって自分の能力を伸ばすことができると思う	3.97	4.33	
		学習は、教えてもらうだけでなく、自分で考えることだと思う	3.87	4.04	
		グループで勉強したほうが、たくさんのことが学べる	4.13	4.30	
	自己肯定感・達成感	自分は成長していると思う	3.72	3.96	
		自分はクラスみんなの勉強に役に立っていると思う	3.86	4.00	
		自分の得意な部分では、リーダーとして行動する	2.90	3.22	

注)・評定値は5件法で回答を得た(1.まったくあてはまらない~5.とてもあてはまる) n=30

・Wilcoxonの符号付き順位検定漸近有意確率(両側) * $p < 0.05$, ** $p < 0.01$

5.効果検証結果 (2)(B)意識・態度の変化

②児童たちの言葉より

さらに、授業を実施した後の感想のコメントを取得し、児童の意識を探った。

●「視野の広がり(拡散)」と「最後に自分で考えることの大切さ(収束)」への気づきが多数見られた

上記2点に関するコメントが多く、当初ねらいとしていた「拡散」と「収束」による思考の仕方や、そのようなプロセスを行うことの大切さを認識することができた。

●対話の価値を知る

「他者との意見の違い」に気づいた意見も多く、人は多様な考え方を持っていることに気づき、対話の価値を理解する様子も見られた。

表8.授業の感想・学んだこと(主な意見を抜粋)

分類	児童のコメント
批判的 思考力	課題認識 ・自分の意見をもつこと、それを友達と話し合うこと
	情報の整理 ・どう分類するか、どうしたら一番自分の中での答えが見つかるか ・図式化することができた ・関連する情報をすぐに他の人にiPadで移動できて、考えが整理しやすくなった ・アプリでこんなにみんなの考えなどで協力しあっていけんをまとめるとうことにきずきました。
	情報の評価 ・友達と考え方が違っても、関連していることもあるから、もっと(普段から)友達の考えと比較しなければいけないと学んだ ・理由はなぜ自分と違う意見になったか、なぜこのように考えたかとても興味深い
	見る視点の多様性 【視点の広がり】 ・みんなの意見が聞けてシヤが広がった ・みんないろいろな意見があつて違うところから見てみる事ができる学習が出来て楽しかった。 ・自分では気づかない事も発見できた 【価値創造(新しい意見の創出)】 ・自分とグループでの意見を通して、新しい考えが生まれること ・情報を関連させることで新たな考えも出てきて、すごいと思った。 ・友達の意見をしてよりいい意見を出すことが出来たからいい学習になった
	論理的整合性 【多様な視点で考えること】 ・まわりの意見をもとにして考えられた ・1人ではなく、みんなの意見を聞くことで自身の間違いに気づけることがあった。 ・自分とはちがう意見がたくさんでて考えなおす所がたくさんあったし、友達の意見を取り入れたりすることができてよかった。 【最後に自分で考え直すこと】 ・もっと大切なのは「自分の意見をもう一回考え直す」ということ。 ・いつもは自分の意見しか見ないけど、グループで考える大切さと、自分で考える大切さ両方分かって面白かったです ・最初一人で取り組んで、グループで考え一人でまた考えることで最終的にはいい答えがでる ・最初に自分で書いて、グループになっていい意見をもらって、最後はやっぱり1人で考えるから生まれる意見もあった 【理解が深まる】 ・グループで話し合いをすると新しいことが知れるので、意見の理由がわしくなって、人に伝える時に分かりやすくなるということを学びました。 ・内容が理解できた ・「自分→グループ→自分」の流れのおかげで、勉強内容が頭の中によく入った。
	学び方 思考プロセス ・まず1人で考えることで自分の意見が生まれ、グループの話し合いで考えることで人の意見も知れて考える幅が広がって、意見が多くなったところで自分1人で考えると、理由とかが1番最初よりもよく書けるようになって良いと思った
学習姿勢・態度	他者理解・コミュニケーション 【他者との意見の違い】 ・ちがう視点から見ている友達に驚いた ・人と人との考えがちがうことがすごく分かった ・物事に対する捉え方は多くあることを知った。 ・自分とはちがういけんがたくさんあってとてもたのしかった。 【人の考えを理解・尊重すること】 ・みんなと違う意見でもその意見をしっかりきけた事で、意見が変わることがあってすごいと思ったです。 ・自分だけでなくグループ全員の意見を知ることが大切 ・人の意見をきちんと聞いて、いいなと思ったことを考えること 【人のいいところ】 ・人のいいところをよく見つけた。 ・自分の考えも大切だけど、みんなの意見もすごく良い。みんなから学ぶこと 【コミュニケーション】 ・自分の考える伝えるのにつかれた
	試行錯誤 ・最初はなかなか意見がでなかったけど沢山やってるうちに、楽しくなり沢山意見がでてきたのでもう1度やりたいたいと思いました。 ・身近にあるぎもんを一人で考えたりみんなで考えたりするのが楽しかった。 ・長期記憶のように、何度も同じ考えを巡らせることで視野が広がり、様々な情報をとり入れられる学習だった。 ・人の意見も取り入れて最初に意見が正しいと思わなくて文章をどんどん変えられたこと
	意識 学ぶ意欲・好奇心 ・楽しかった ・もう一度やりたい
	学習観 【協働の意識】 ・グループで話し合っ結果を出すのがとても楽しい。 ・友達と勉強するより1人で勉強をした方がいい。人に見られるのでやる気がうせる
自己肯定感・達成感 ・グループの意見の時は、中々自分が意見がいえなかったけど、1人→グループ→1人でする事によって自分の意見をしっかり言うことができた	

5.効果検証結果 (3)得点別の特徴

この学習モデルは、児童によってどのような効果があったのか。児童ごとの得点を分析し、検証する。

①批判的思考力の得点による児童の分類

今回は、最終的な到達状況を基に、児童によってどのような効果があったのかを見ていきたい。実践4のルーブリックの最終得点の合計を基に、高得点、中得点、低得点の3区分に分割して分析を行った。

表9.批判的思考力区分の算出結果(実践4「③個人で再構築」時の合計点より算出)

	低得点G (11-15点)	中得点G (16-17点)	高得点G (18-19点)	合計
n	10	8	8	26
%	38.4%	30.8%	30.8%	100%

※欠席及び全データがそろっていない児童を除いて算出

②批判的思考力の得点別による特徴

上記3区分ごとに、最終実践である実践4の得点の内訳を見る。(図15参照)

●全ての児童(グループ)に効果が見られた

今回の学習モデルによる効果が最も高かったのは高得点Gである。5つの評価観点の全ての得点が向上し、意見を深める点まで到達することができた。その他のグループについても、情報を咀嚼して自己の中に取り込むことが促進されるなど、全ての児童にとって、それぞれの効果がある協働学習となった。

●高得点G

全観点の得点が大きく上昇し、意見の深まりが見られた

高得点Gは、「③個人で再構築」することで、全観点が大幅に伸びた。最初の「①個人検討」時と比較しても、大きく得点が伸びていることから、一人で考えるだけでなく、「②グループ検討」を経て、最後に再び「③個人で再構築」することの効果がいかに大きかったと見える。特に、「②グループ検討」時に、「課題認識」が補正され、「視点の多様性」が向上したことを土台として、最終的な個人検討を行ったことで、多様な意見を取り入れて自己の意見を深めることにつながったと考えられる。

●中得点G

情報を咀嚼して自己の中に取り込むとともに、新たな意見の創出がなされた

中得点Gも、「②グループ検討」時に、「課題認識」と「視点の多様性」に向上が見られた。その上で「③個人で再構築」を行ったことで、「情報の整理」「情報の評価」「視点の多様性」にも向上が見られた。適切な課題認識の下、多様な意見を基に再検討したことで、いろいろな情報を整理・評価して自分の中に咀嚼して取り入れることや、新たな意見を創出することにつながったと考えられる。

ただし、「論理的整合性」の向上までには至らず、他者の意見を自分の意見に反映させるためには、さらなる実践が必要だと考えられる。

●低得点G

情報を咀嚼して自己の中に取り込むことが促進された

低得点Gも、他のグループと同様に、「②グループ検討」時に、「課題認識」と「視点の多様性」に向上が見られた。その上で「③個人で再構築」を行ったことで、「情報の整理」と「情報の評価」にも向上が見られた。適切な課題認識の下、多様な意見を基に再検討したことで、いろいろな情報を整理・評価して、自分の中に咀嚼して取り入れることまではできたと考えられる。

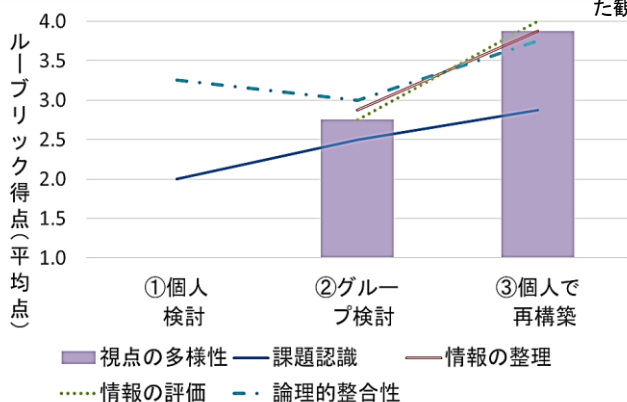
ただし、「③個人で再構築」時に低下してしまう項目もあることから、グループでの議論を全て理解して取り入れることは、まだ難しい状態にある。

5.効果検証結果 (3)得点別の特徴

高得点G

	課題認識	情報の整理	情報の評価	視点の多様性※	論理的整合性
①個人検討	2.0				3.3
②グループ検討	2.5	2.9	2.8	2.8	3.0
③個人で再構築	2.9	3.9	4.0	3.9	3.8

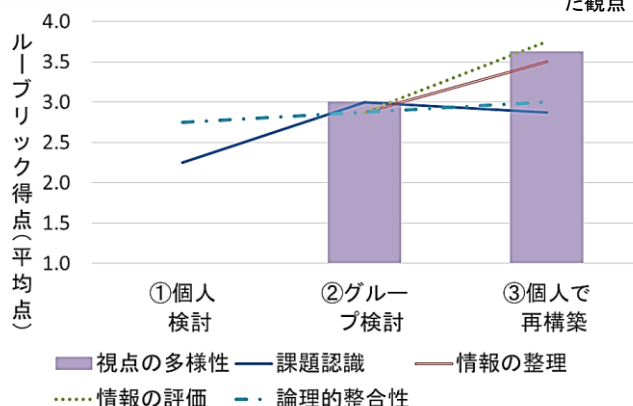
網掛けは③で得点が向上した観点



中得点G

	課題認識	情報の整理	情報の評価	視点の多様性※	論理的整合性
①個人検討	2.3				2.8
②グループ検討	3.0	2.9	2.9	3.0	2.9
③個人で再構築	2.9	3.5	3.8	3.6	3.0

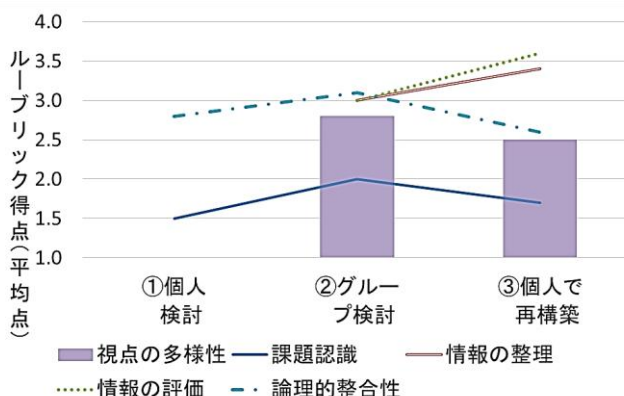
網掛けは③で得点が向上した観点



低得点G

	課題認識	情報の整理	情報の評価	視点の多様性※	論理的整合性
①個人検討	1.5				2.8
②グループ検討	2.0	3.0	3.0	2.8	3.1
③個人で再構築	1.7	3.4	3.6	2.5	2.6

網掛けは③で得点が向上した観点



※「視点の多様性」は、「①→②」、「②→③」の変化があった場合に「レベル3」、変化がなかった場合に「レベル1」と設定

図15.グループ別のルーブリック得点(平均点) (実践4のデータ)

5.効果検証結果 (3) 得点別の特徴

③実際の成果物の例

●高得点Gの児童の例(実践4)

グループの意見を基に、最終的には自分なりの解釈や意見の創出が行われ、ストーリー性を持って意見がつくれている。

実践4：メディアリテラシー

高額な小遣いをもらっている子どもがいることを紹介するテレビ番組を通して、編集された番組を批判的に読み解くことの必要性を考える。

①個人検討

ワークシート①
※入力が終わったら画面キャプチャをとってxSynclに送信してください

私は
お小遣い欲しさの為に教育費も親に要求するのはよくない! と考えました

その理由は
親が頑張って働いたお金を何行と取ろうとする

この段階では課題を適切に捉えられていない

ルーブリック 得点	
課題認識	1
情報の整理	-
情報の評価	-
視点の多様性	-
論理的整合性	3

②グループ検討

ワークシート②
※入力が終わったら画面キャプチャをとってxSynclに送信してください

グループでは
小学生が年に約60万円ももらうのはおかしい! と考えました

その理由は
まだ小学生で働いていないのに100万円近くもお金を持つなんて 金銭感覚が狂うから

メディアの問題が意識されている

ルーブリック 得点	
課題認識	2
情報の整理	3
情報の評価	3
視点の多様性	3
論理的整合性	3

③個人で再構築

ワークシート③
※グループで話し合ったことをもとに、「本当に重要だと思うこと」に◎、「自分では気がつかなかったこと」「新しく発見したこと」に★をつけよう ※それから、もう一度XingBoardで自分の意見を整理してみよう

最後に私の意見は、**メディアの課題を捉えている**
メディアの都合のよいように番組を作るのは国民の為に反する
と思いました

その理由は
メディアが流す情報の一部で人の欲望が高まり子供なのに大金を要求してしまうから。

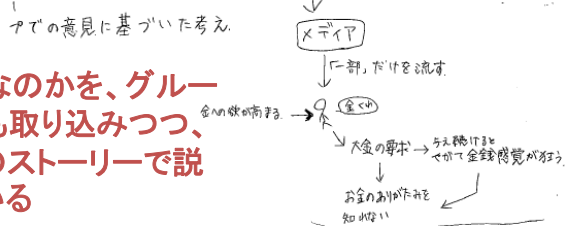
ラベルがつけ替えられて 解釈・意味づけが行われている

グループの考えと対比して、自分の新たな意見が つけられている

ルーブリック 得点	
課題認識	3
情報の整理	3
情報の評価	4
視点の多様性	4
論理的整合性	4

自分の主張に沿って、情報の整理・吟味が行われている(全体)

なぜ問題なのかを、グループの意見も取り込みつつ、自分なりのストーリーで説明できている



5.効果検証結果 (3) 得点別の特徴

●中得点Gの児童の例(実践4)

グループ検討時に課題を適切に捉えることができ、その後の個人検討では、新しい意見の創出につながっている。

①個人検討

この段階では課題を適切に捉えられていない。説明も不十分

ワークシート①
※入力が終わったら画面キャプチャをとってxSyncに送信してください

私は
そんな金ないにつかうの?とらてあきながら本当は家畜の問題と考えました

その理由は
大人は家のいろいろなお宝を金を使っているからさいしゅうてきにへらされるのはおこさかただから

ルーブリック得点	
課題認識	2
情報の整理	-
情報の評価	-
視点の多様性	-
論理的整合性	2

②グループ検討

ワークシート②
※入力が終わったら画面キャプチャをとってxSyncに送信してください

グループでは **メディアの課題を捉えている**

おこづかいが高いだけテレビに出るのはおかしいと考えました

その理由は
全員がおこづかいをたくさんもらっているワケではないので多くもらっているワケでなくすべき!

ルーブリック得点	
課題認識	3
情報の整理	3
情報の評価	3
視点の多様性	3
論理的整合性	2

③個人で再構築

ワークシート③
※グループで話し合ったことをもとに、「本当に重要だと思うこと」に◎、「自分では気がつかなかったこと」と「新しく発見したこと」に★をつけよう ※それから、もう一度XingBoardで自分の意見を整理してみよう

最後に私の意見は、
テレビはやらせだと思いました

これまでの意見では出ていなかった
その理由は **新しい意見がつけられている**

そんな一万円か五万円もあつた人がはうしくにもなかないから

ルーブリック得点	
課題認識	3
情報の整理	3
情報の評価	3
視点の多様性	4
論理的整合性	3

5.効果検証結果 (3) 得点別の特徴

●低得点Gの児童の例(実践4)

最初の個人検討では、課題認識やその説明も不十分であったが、グループ検討により改善・向上が図られている。その後の個人での再構築でも、新しい意見をつくるまでには至らないが、自分なりの優先順位づけを行うなど、自分の意見として解釈して記述している様子が見えてくる。

①個人検討

この段階では課題を適切に捉えられていない。説明も不十分

ワークシート①
※入力が終わったら画面キャプチャをとってxSyncに送信してください

私は
テレビ局だからといって高い金額を言わせるのが悪いと思います
親が悪い

その理由は
テレビ局の人もそこまで言えない事はないと思う

ルーブリック 得点	
課題認識	2
情報の整理	-
情報の評価	-
視点の多様性	-
論理的整合性	2

②グループ検討

ワークシート②
※入力が終わったら画面キャプチャをとってxSyncに送信してください

グループでは
小学生が年に60万はおかしい、ときました

その理由は
小学生がもらっても使い道が無いと思う

ルーブリック 得点	
課題認識	2
情報の整理	3
情報の評価	3
視点の多様性	3
論理的整合性	3

③個人で再構築

ワークシート③
※グループで話し合ったことをもとに、「本当に重要だと思うこと」に◎、「自分では気がつかなかったこと」と「新しく発見したこと」に★をつけよう
※それから、もう一度XingBoardで自分の意見を整理してみよう

最後に私の意見は、
年12,60万ももらうのはおかしい、と思いました

その理由は
使い道が無いと思う

ルーブリック 得点	
課題認識	2
情報の整理	3
情報の評価	3
視点の多様性	1
論理的整合性	3

グループの意見とほぼ同じ
(ただし、左記XB画面より、自分なりの解釈を行って意見を記述している)

5.効果検証結果 (3)得点別の特徴

④各グループ別の意識の変化

続いて、グループ別の意識の差について見てみる。

●得点が高いグループほど意識の変化も大きい、全てのグループで向上が見られた

事前・事後の比較で有意な差が見られた項目を比較すると、「批判的思考(行動評価)」「学習姿勢・態度」のいずれにおいても、高得点Gが最も多く、次いで中得点G、低得点Gと低下していく。このことから、思考の方法や態度の両方を身につけることで、思考力の向上につながっていくと考えられる。

また、程度の差はあるが、全てのグループで向上している項目もある。各自の力に応じて、今回の実践から思考の方法や姿勢を学んだと言える。

●自己肯定感・達成感に向上のきざし

「意識」については有意差が出た項目はなかったが、事前・事後を比較すると、「自己肯定感・達成感」は、全グループにおいて得点が向上した(表10の囲み部分)。自分の意見が取り入れられたり、自分なりの意見をつくることで、達成感や役立ち感が向上したと考えられる。現段階では、明確な意識向上とまでは言えないが、各自が大なり小なり自己の成長とクラスへの役立ちを感じる活動になったのではないか。こうした活動を今後も継続することで、学びへの意識を変革していくことにつながっていくことが期待される。

表10:各グループ別の事前・事後アンケート結果(主な項目を抜粋)

区分	アンケート項目	高得点G		中得点G		低得点G		
		プレ	ポスト	プレ	ポスト	プレ	ポスト	
批判的思考 (行動評価)	課題認識	話し合いをする時は、何が問題になっているのかをまず考える	3.88	4.50 *	3.88	4.50	4.20	4.40
		疑問をもったことについて、その予想を考える	3.38	3.88	3.00	3.88 *	3.20	4.40 *
	情報の整理	人の意見を聞くときは、事実と意見を区別して考える	2.88	4.25 *	2.88	4.25 *	3.70	3.90
		自分と人の意見の共通点や違いを整理しながら考えている	3.50	4.50	3.13	4.25	4.00	4.10
		その人の言いたいことや理由を考えながら聞いている	3.75	4.38	3.13	4.00	4.10	4.40
	情報の評価	人の意見を聞くとうするが、よく分からないことが多い	2.88	2.50	3.50	2.88	3.20	3.30
		ものごとを関連づけて考えている	3.38	4.63 *	2.88	3.75	4.00	4.20
	視点の多様性	述べられている意見と理由がきちんとつながっているかを考える	3.50	4.50 *	3.14	3.75	3.90	4.20
		人の意見を聞いて、いいところを自分の意見に取り入れている	4.25	4.75 *	4.38	4.50	3.40	4.50 *
		人の意見を聞いて、新しいことを思いつくことがある	3.63	4.38	3.50	4.13	3.70	3.90
		人の意見を聞いて、自分の考えが正しいのかを考え直すことがある	4.00	4.63	3.75	4.63	4.00	4.60
	論理的整合性	自分の立場だけでなく人の立場からも考えている	3.25	4.13	2.88	4.50 *	4.20	4.22
なぜそう思うのかの理由をつけて自分の意見を説明している		4.00	4.75	3.14	4.50 *	3.80	4.20	
すじ道をたてて、ものごとを考えている		3.38	4.00	2.50	4.00 *	3.67	4.20	
	意見をまとめるときは、全体のつながりを考える	3.13	4.25 *	3.00	3.75	3.70	4.00	
	反対意見があることも考えて、自分の考えを見直すことがある	3.75	4.25 *	3.00	3.75	3.80	4.20	
学習姿勢・態度	他者理解	人の意見や考えを知りたいと思う	3.75	4.88 *	3.75	4.75 *	4.40	4.50
		考えが違ふ人の意見も大切にしている	3.63	4.75 *	3.63	4.38	3.90	4.67 *
	コミュニケーション意識	人に自分の考えを伝えたいと思う	4.14	4.88 *	2.86	4.50 *	4.10	4.00
		人の意見で、わからないことは質問している	3.63	4.75 *	3.50	4.25	3.60	3.90
	試行錯誤	自分の意見がどうしたら伝わるか、使う言葉や言い方を考える	4.00	4.38	3.25	4.38	3.90	4.10
		いろいろな事柄について、どうしてそうなるのかをよく考える	3.38	4.38	2.63	3.75 *	3.70	4.60 *
意識	学ぶ意欲	何かよい方法はないかを考えて、意見を出すほうだ	3.00	4.38 *	3.38	3.88	3.50	3.60
		何度も考えを整理しているうちに、よい考えを思いつくことがある	4.13	4.63 *	3.50	4.13	4.10	3.90
	学習観	いろいろなことを知ること、できるようになることが楽しい	4.63	5.00	4.88	4.50	4.70	4.44
		なるべく多くのことを学びたいと思う	4.00	4.88	3.86	4.25	4.60	4.56
		学習によって自分の能力を伸ばすことができると思う	4.63	4.75	4.00	4.13	3.80	4.33
	自己肯定感・達成感	学習とは、先生から教えてもらうだけでなく、自分で考えることだと思う	4.00	4.13	4.13	4.50	4.00	3.78
グループで勉強したほうが、たくさんのが学べる		4.75	4.38	4.13	4.38	4.10	4.56	
自分は成長していると思う		4.13	4.38	3.25	3.50	3.78	4.22	
	自分はクラスのみみんなの勉強に役に立っていると思う	2.63	3.38	2.75	3.00	2.89	3.11	
	自分の得意な部分では、リーダーとして行動する	3.38	3.63	2.88	3.50	3.00	3.00	

注)・評定値は5件法で回答を得た(1.まったくあてはまらない~5.とてもあてはまる) n=30

・Wilcoxonの符号付き順位検定漸近有意確率(両側) *p<0.05, **p<0.01

5.効果検証結果 (4)効果検証結果まとめ

これまでの分析結果をまとめる。

表11.分析結果まとめ

※ルーブリック評価得点、アンケート得点をもとに有意な結果がでたものに◎○、一部の児童など限定的に効果が見られたものに△

区分		今回の授業のねらい	能力伸長結果※	「②グループ検討」で伸び	「③個人で再構築」で伸び
批判的 思考力	課題認識	何が問題になっているのか課題をしっかりと捉えて、考えることができるようになる	○	「②グループ検討」で向上 (4回の実践での変化はなし)	—
	情報の整理	メタの視点で(対比、体系化して)考えることができるようになる	○	/	「③個人で再構築」で向上 (4回の実践での変化はなし)
	情報の評価	振り返って考える・試行錯誤しながら考えることができるようになる 思考の仕方・方法を理解する(比較、分類、構造化、体系化)	◎		「③個人で再構築」で向上 (4回の実践でも伸び)
	視点の多様性	メタの視点(多様な視点から)考えることができるようになる	◎	「②グループ検討」で向上	「③個人で再構築」でさらに向上 (4回の実践でも伸び)
	論理的整合性(主張を含む)	メタの視点(吟味・論理性の確認)で考えることができるようになる 自分なりの考えをつくることができるようになる	△	—	全体での向上は見られなかったが、高得点Gでは「③個人で再構築」で大きく向上
学び方	思考プロセス	思考のプロセスを理解する。思考の一連の流れ、プロセスの回し方をつかむ	◎	「批判的思考力(行動評価)」がほぼ全項目で向上 (児童たちが批判的思考の方法を意識して実施することができるようになった)	
学習姿勢・ 態度	他者理解	人の話をよく聞こうとする 異なる意見も大切だと思う	◎	「人の意見や考えを知りたいと思う」「考えが違う人の意見も大切にしている」が向上	
	コミュニケーション意識	自分の意見を伝えたいと思う 分かりやすく表現しようとする	◎	「自分の意見がどうしたら伝わるか、」使う言葉や言い方をよく考える」が向上	
	試行錯誤	試行錯誤して考えようとする	◎	「いろいろな事柄について、どうしてそうなるかをよく考える」「何かよい方法はないかを考えて、意見をだすほうだ」が向上	
意識	学ぶ意欲	自分の頭で考えることの大切さを理解する 友だちと学ぶ価値を知る	—	この学習に対しては、楽しかった、またやりたいという意見も多数出たが、 学習意欲までは向上せず	
	学習観		—	—	
	自己肯定感・ 達成感	自分の意見がみんなの学びに貢献したという実感を持ち、自分に自信がつく 自分の意見をつくれたという達成感を感じる	△	クラスにおける役立ち感、自分の成長感の得点が、全グループ※にて向上 ただし、有意差までは見られず ※最終ルーブリック得点による3区分	